

公益財団法人平塚市まちづくり財団臨時第3回評議員会議事録概要

平成26年3月27日午前10時30分、教育会館2階中会議室において、臨時第3回評議員会を開催した。

出席評議員 9人（評議員総数9人）

井上純一、大川五郎、柏手茂、嶋津智恵子、関口博正、西山滋恩、
高岡捷二、平野恵美子、福澤正人

出席理事 伊藤裕、岩崎由紀子、片倉勝太郎、高梨孝治、田中國義

出席監事 大曾根俊久、小林立欣

定刻になったので司会者総務施設課長川村潔は開会を宣し、本日の評議員会は評議員9人中9人及び伊藤裕理事長及び理事の岩崎由紀子、片倉勝太郎、高梨孝治、田中國義並びに監事の大曾根俊久、小林立欣の出席を得ているので有効に成立した旨告げ、評議員会運営規程第8条第1項により評議員会会長が議長となり議案の審議にはいった。

議長は、本日の議題は、議案第8号平成26年度公益財団法人平塚市まちづくり財団事業計画及び予算、議案第9号公益法人変更認定申請、議案第10号理事の選任、議案第11号監事の選任、議案第12号事務所等建設土地の取得の5案件等である旨を告げ、審議にはいった。

議案第8号平成26年度公益財団法人平塚市まちづくり財団事業計画及び予算

議長は、議案第8号平成26年度公益財団法人平塚市まちづくり財団事業計画及び予算について理事長に説明を求めた。理事長は、別冊平成26年度事業計画及び収支予算並びに議案第8号参考資料により平成26年度の事業計画と収支予算の内容を説明した。評議員から芸術文化振興事業の文化講演会の内容等について質問が出され、理事長は、本年に実施した文化講演会時のアンケートなども参考に平塚市民を対象として日程や講師等を今後詰めていくと説明し、議長が諮ったところ、出席評議員全員一致をもって原案を可決承認した。

議案第9号公益法人変更認定申請

議長は、議案第9号公益法人変更認定申請について理事長に説明を求めた。理事長は、申請理由と申請内容を説明した。評議員から事業廃止の理由について質問が出された。理事長は、市民プラザは中心商店街の活性化に有効な観光協会が運営することとなること、霊園は指定管理者制度の導入により市が選考した他団体が運営することとなること、漁港は従来から実質的に市の管理運営となっており、また周辺地域の再整備が予定されていることなどから平塚市に事業を返すことから財団としては3事業を廃止すると説明し、議長が諮ったところ、行政庁の審査の過程において必要となった際の字句修正や加筆及び申請書別紙の記載内容、添付資料等の事務手続きを理事長に一任することとし、出席評議員全員一致をもって原案を可決決定した。

議案第１０号理事の選任

議長は、議案第１０号理事の選任について理事長に説明を求めた。理事長は、高田理事の辞任に伴い、新たな理事の選任を求める旨の理由を述べ議案第１０号により説明した。議長が諮ったところ、出席評議員全員一致で次の者を理事に選任した。

安達 信行

議案第１１号監事の選任

議長は、議案第１１号監事の選任について理事長に説明を求めた。理事長は、小林監事の辞任に伴い、新たな監事の選任を求める旨の理由と議案第１１号により説明した。議長が諮ったところ、出席評議員全員一致で次の者を監事に選任した。

岩崎 和子

議案第１２号事務所等建設土地の取得

議長は、議案第１２号事務所等建設土地の取得について理事長に説明を求めた。理事長は、議案第１２号によりその取得目的、取得する土地の状況等の内容について説明した。評議員から現時点の積立額、事務所等の建設に係る時期、新たな事務所等を取得する効果等について質問が出された。理事長は、平成２５年度末で７千７百万円の積立であること、平成２６年度事務所等の規模等を検討、平成２７年度詳細設計、平成２８年度建設を予定していること、期待する効果として３つの課を一つの事務所に統合することで効率的な事業展開ができる旨を説明した。評議員から事務所等には評議員会等の会議ができるスペースの確保、しっかりした資金計画の策定が必要等の意見が出され、議長が諮ったところ、土地の取得価格その他の土地取得に関する交渉を理事長に一任することとし、出席評議員全員一致で原案を可決決定した。

その他

議長は、その他として評議員から意見等を求めた。評議員から、今後の自転車については駅南口周辺の駐輪場の再整備と買物客の自転車対策に財団も関与してほしいこと、耐震診断で市民センターの使用ができない場合、現在の文化事業を低下させない方策を検討してほしいことなどの要望が出され、理事長は要望等を踏まえ事業等を検討して行くと答えた。

以上をもって議案の審議を終了したので、議長は閉会を宣し１１時３０分閉会した。